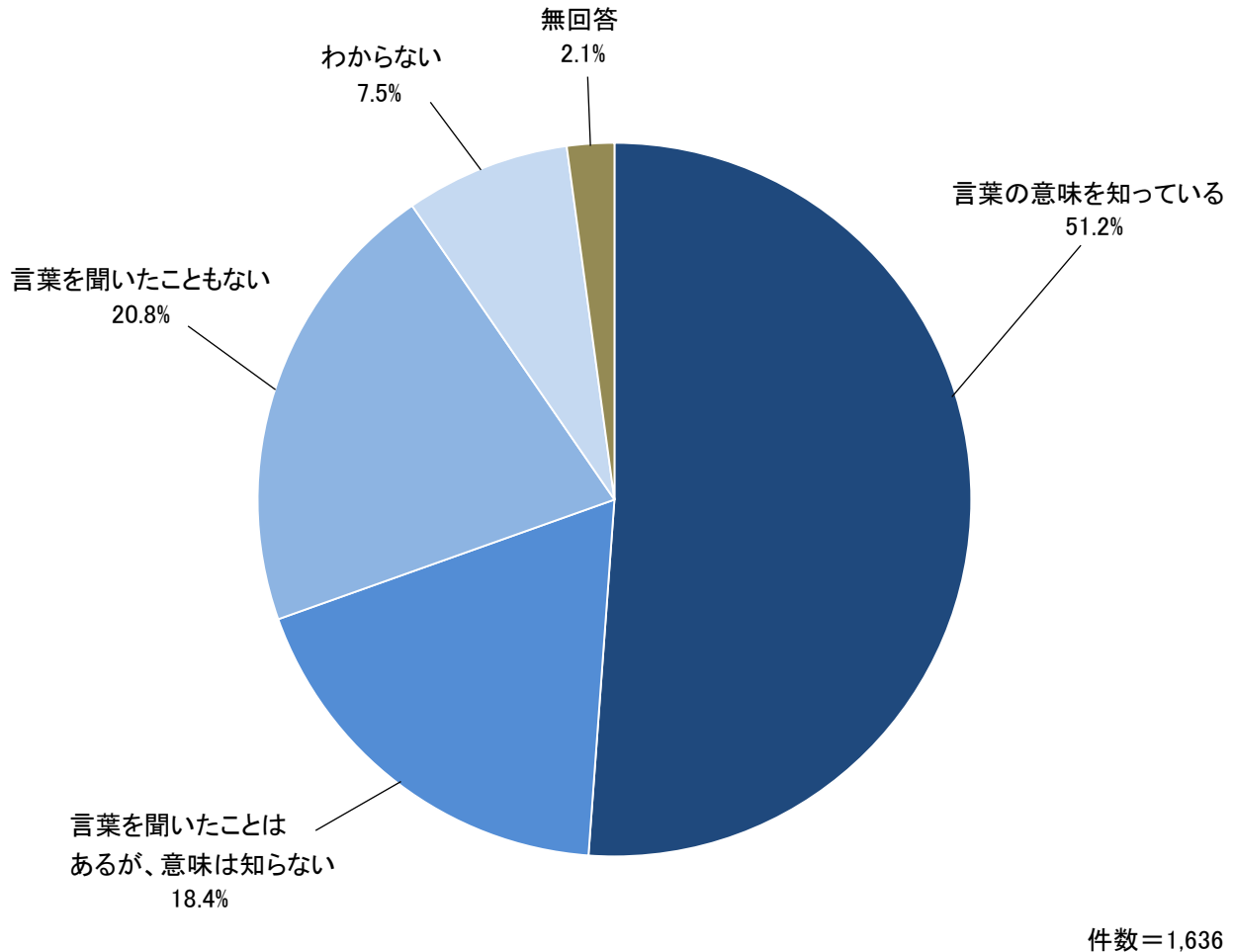


### 3 資源循環型社会づくりについて

#### (1)3Rの認知度

「言葉の意味を知っている」が 51.2%

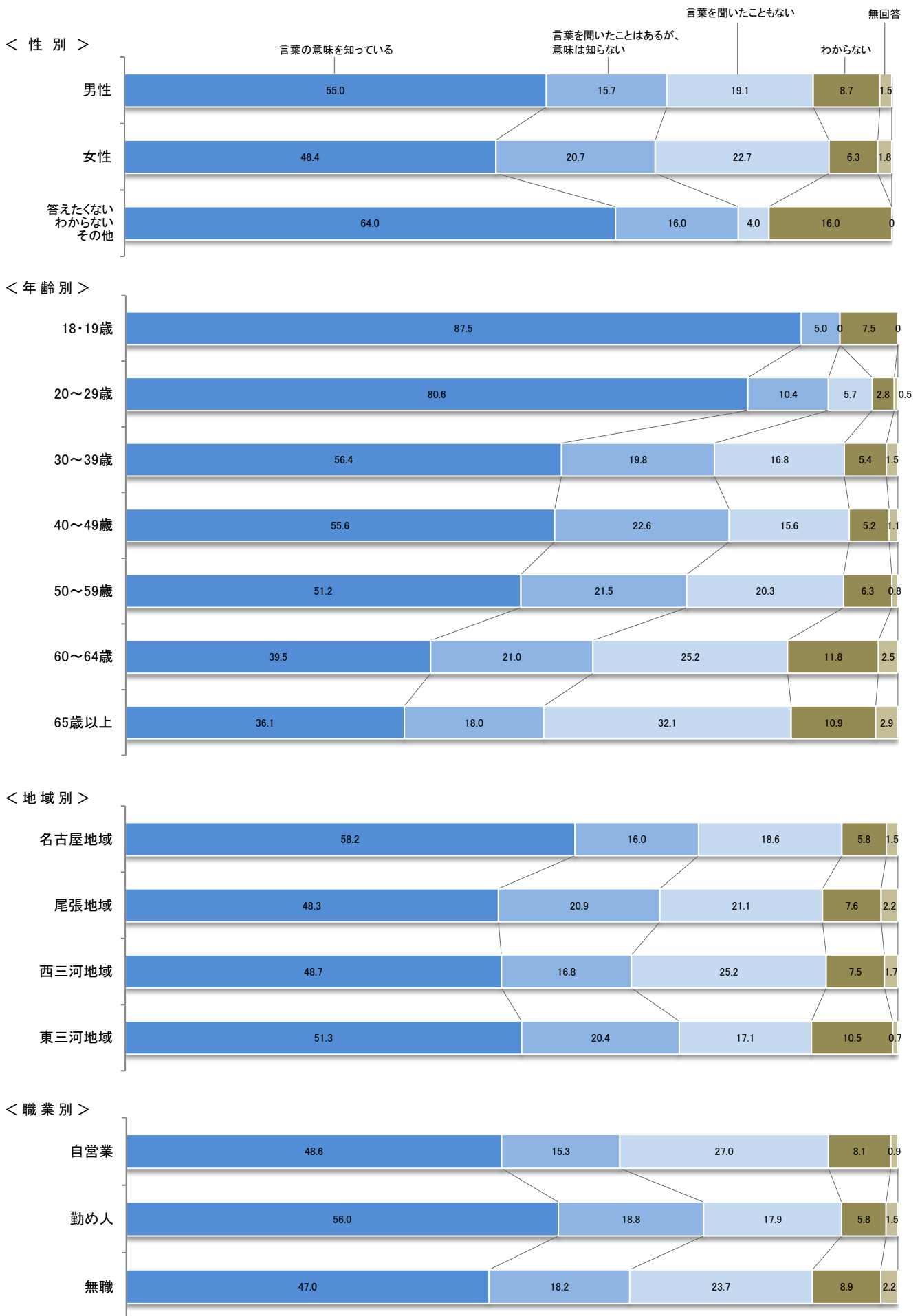
問 12 「3R」とは、Reduce（リデュース：発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の頭文字「R」が3つの単語に共通することから生まれた言葉です。あなたは、「3R」という言葉の意味を知っていますか。【〇は1つ】



3Rの認知度について、「言葉の意味を知っている」と答えた人の割合が 51.2%と最も高く、続いて「言葉を聞いたこともない」(20.8%)、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(18.4%)の順となっている。

### 3Rの認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

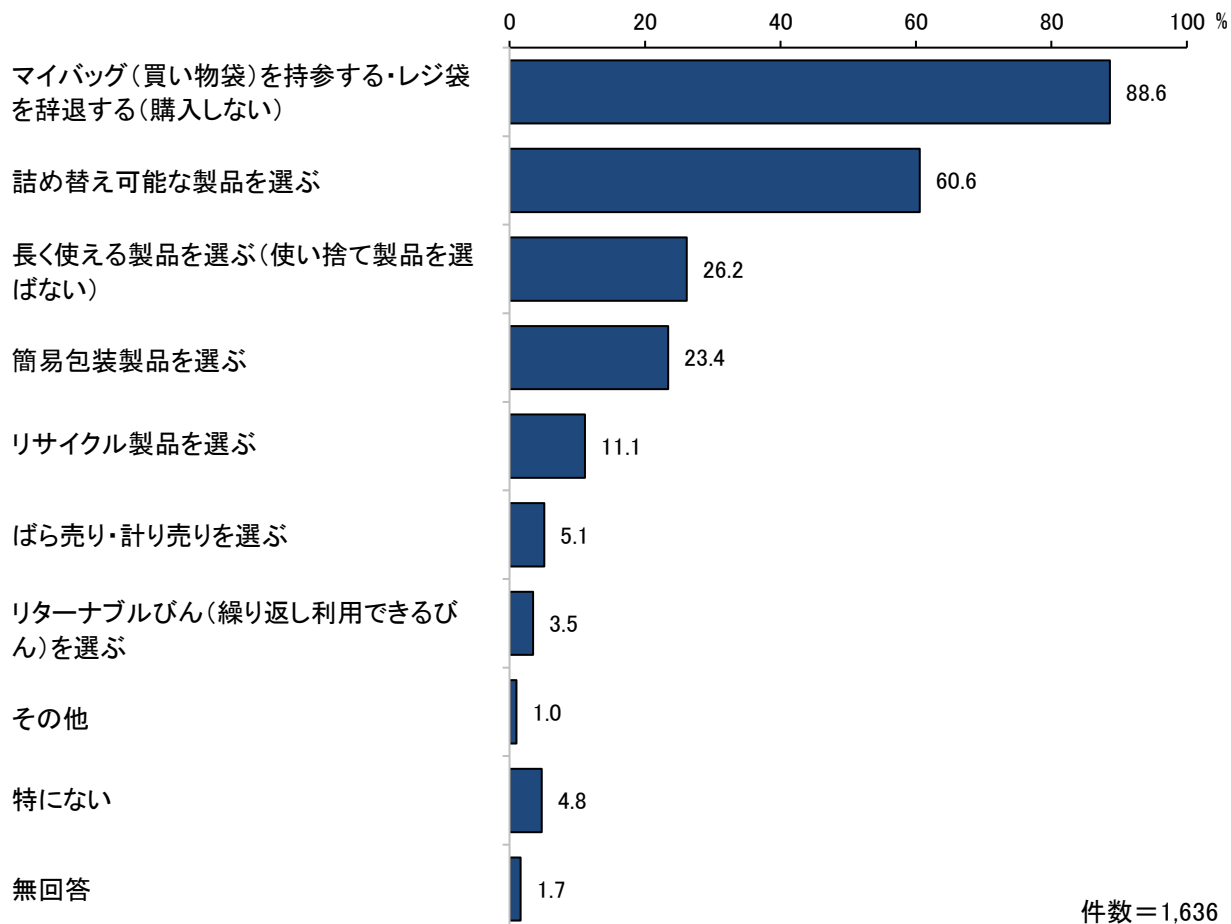
(%)



(2) 買い物をする時に取り組んでいること

「マイバッグ(買い物袋)を持参する・レジ袋を辞退する(購入しない)」が 88.6%

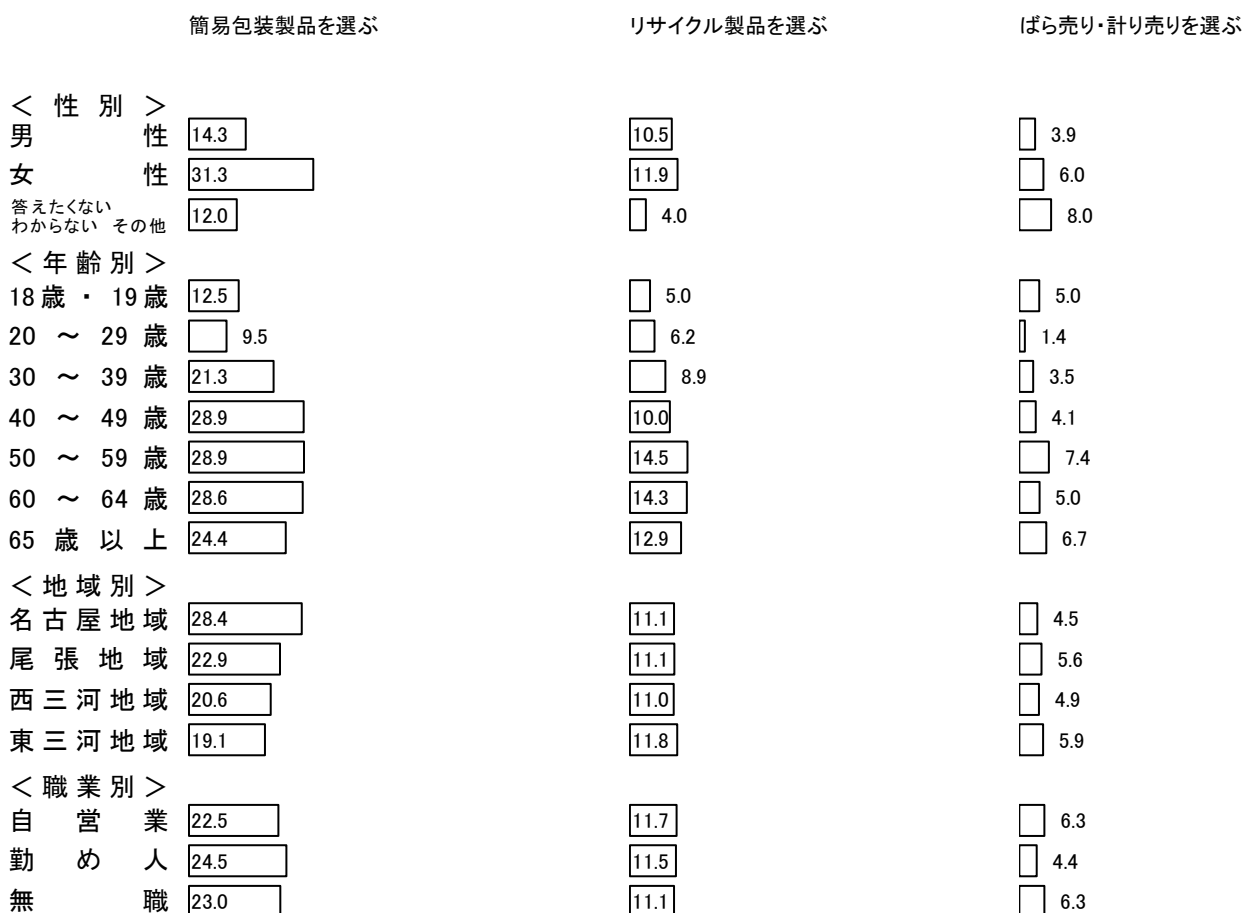
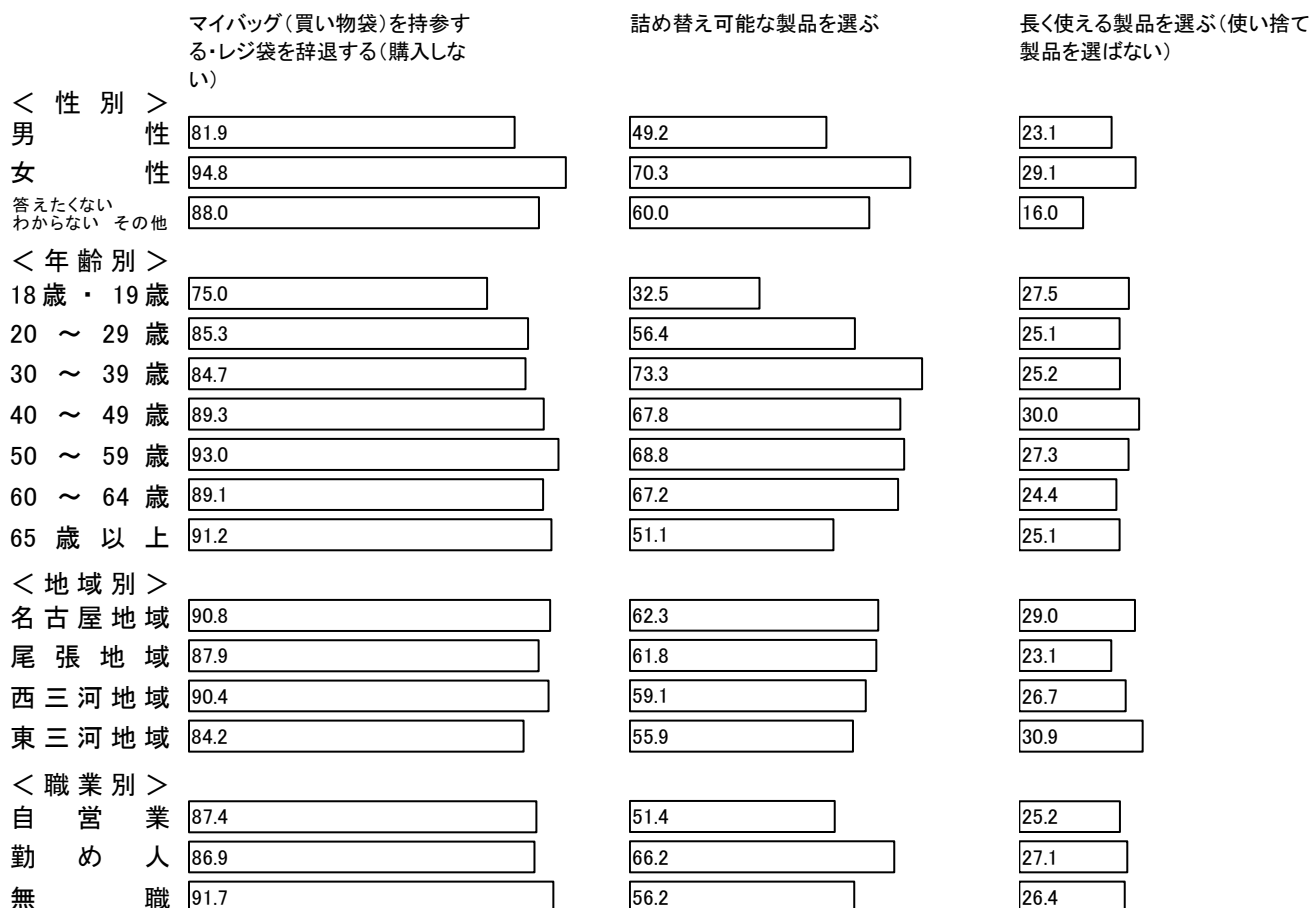
問 13 ごみの減量やリサイクルに関して、あなたが買い物をする時に取り組んでいることは何ですか。  
【〇は複数可】



買い物をする時に取り組んでいることについて、「マイバッグ(買い物袋)を持参する・レジ袋を辞退する(購入しない)」と答えた人の割合が 88.6%と最も高く、続いて「詰め替え可能な製品を選ぶ」(60.6%)、「長く使える製品を選ぶ(使い捨て製品を選ばない)」(26.2%)の順となっている。

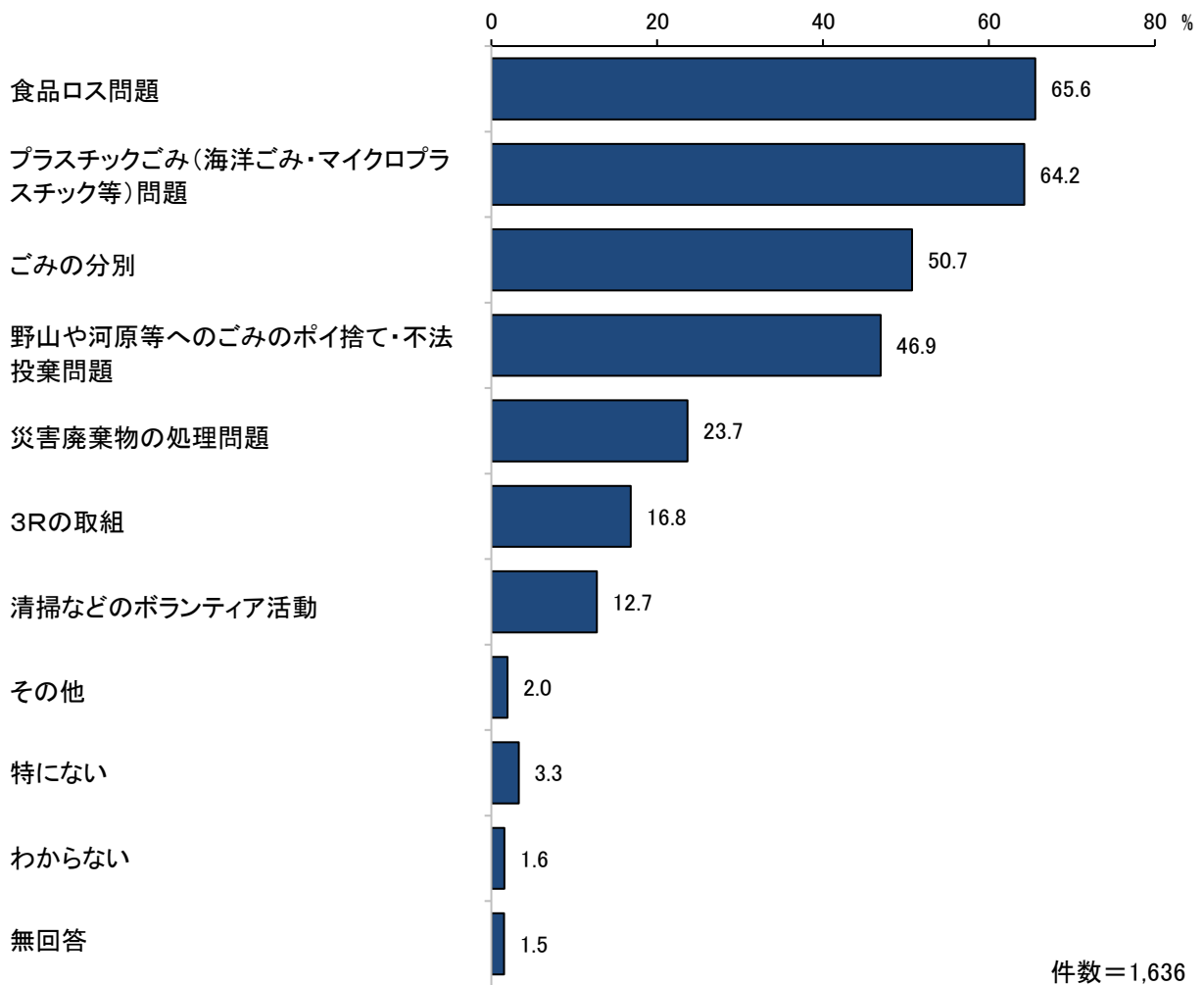
# 買い物をする時に取り組んでいること(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)



(3) 関心のあるごみ問題  
「食品ロス問題」が 65.6%

問 14 あなたは、ごみ問題のうち、どのようなことに関心がありますか。【○は複数可】



関心のあるごみ問題について、「食品ロス問題」と答えた人の割合が 65.6%と最も高く、続いて「プラスチックごみ(海洋ごみ・マイクロプラスチック等)問題」(64.2%)、「ごみの分別」(50.7%)の順となっている。

関心のあるごみ問題(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

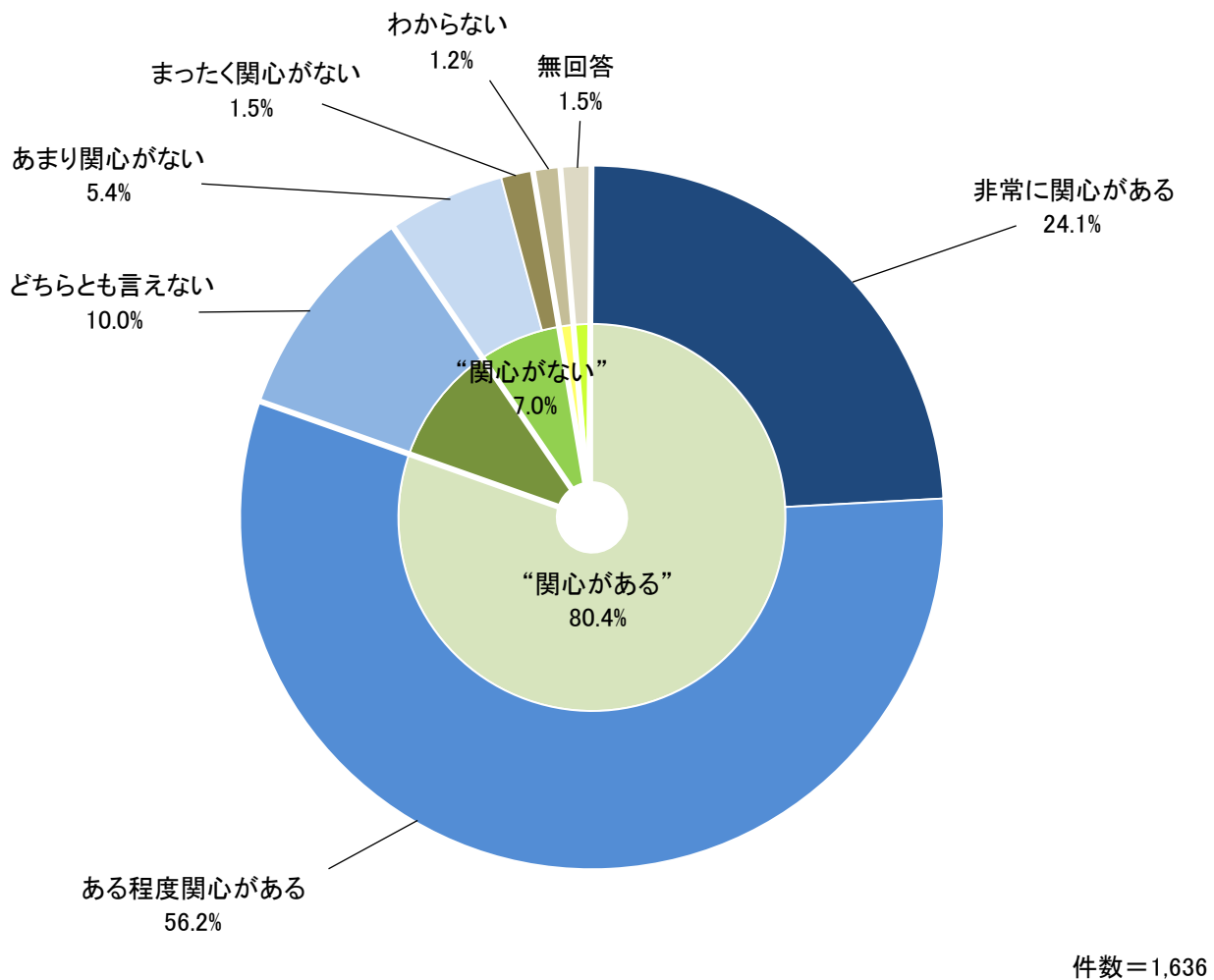
	食品ロス問題	プラスチックごみ(海洋ごみ・マイクロプラスチック等)問題	ごみの分別
<性別>			
男性	64.4	63.3	48.9
女性	67.6	65.8	52.7
答えたくない わからない その他	56.0	64.0	40.0
<年齢別>			
18歳・19歳	47.5	42.5	32.5
20～29歳	52.1	48.8	27.5
30～39歳	68.3	57.9	43.6
40～49歳	68.1	64.8	48.1
50～59歳	70.7	70.7	50.0
60～64歳	70.6	66.4	52.1
65歳以上	67.6	72.0	66.2
<地域別>			
名古屋地域	69.9	69.1	50.7
尾張地域	62.5	64.1	53.3
西三河地域	69.3	61.2	49.0
東三河地域	61.8	61.2	46.7
<職業別>			
自営業	56.8	71.2	56.8
勤め人	68.4	63.3	46.1
無職	64.6	64.7	56.9

	野山や河原等へのごみのポイ捨て・不法投棄問題	災害廃棄物の処理問題	3Rの取組
<性別>			
男性	49.9	22.2	16.4
女性	45.1	25.4	17.7
答えたくない わからない その他	32.0	12.0	8.0
<年齢別>			
18歳・19歳	25.0	22.5	7.5
20～29歳	31.3	13.3	10.4
30～39歳	33.7	17.3	12.9
40～49歳	44.4	24.4	15.9
50～59歳	52.7	26.6	18.8
60～64歳	51.3	27.7	21.8
65歳以上	57.8	28.0	20.5
<地域別>			
名古屋地域	46.1	26.2	21.5
尾張地域	46.9	22.6	17.2
西三河地域	47.5	23.5	9.9
東三河地域	50.0	23.0	18.4
<職業別>			
自営業	52.3	25.2	18.9
勤め人	46.4	23.9	16.7
無職	48.7	23.7	17.4

(4)プラスチックごみ問題への関心度

“関心がある”が 80.4%

問 15 あなたは、プラスチックごみによる海の汚染などの、プラスチックごみ問題に関心がありますか。【〇は1つ】

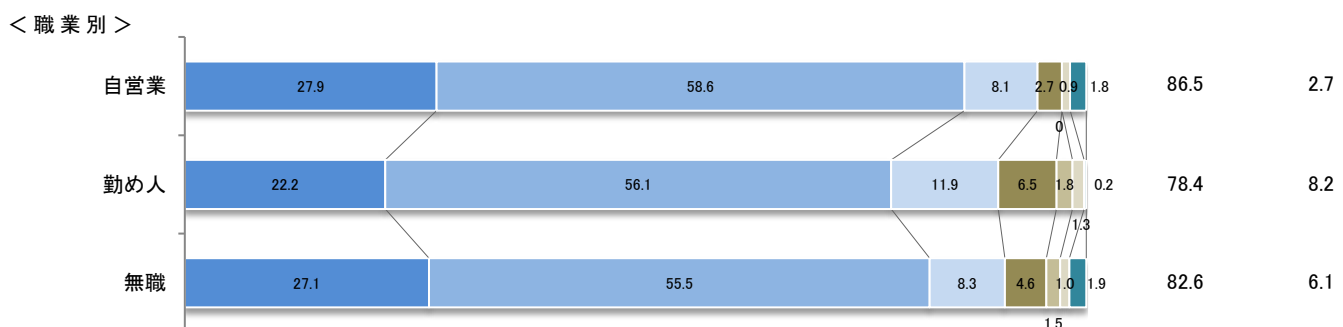
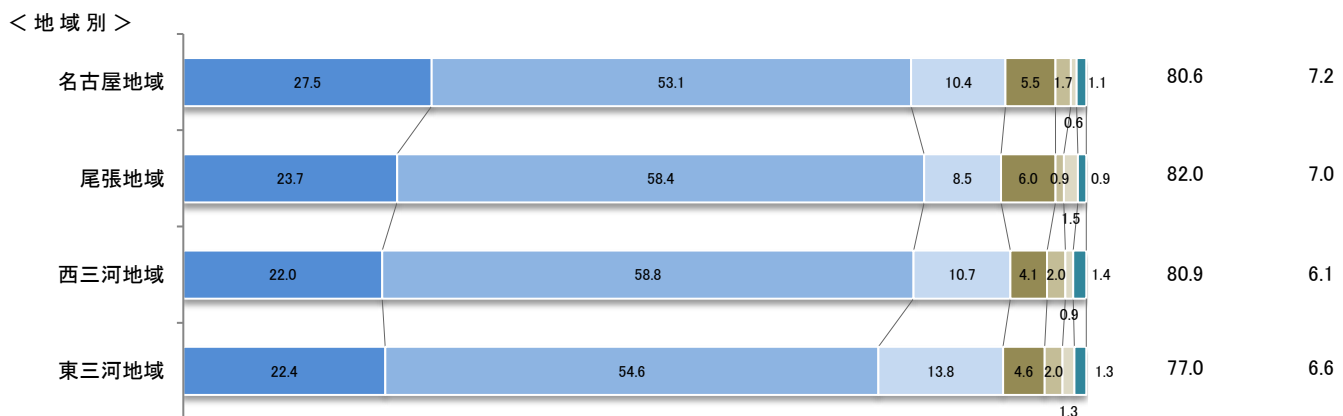
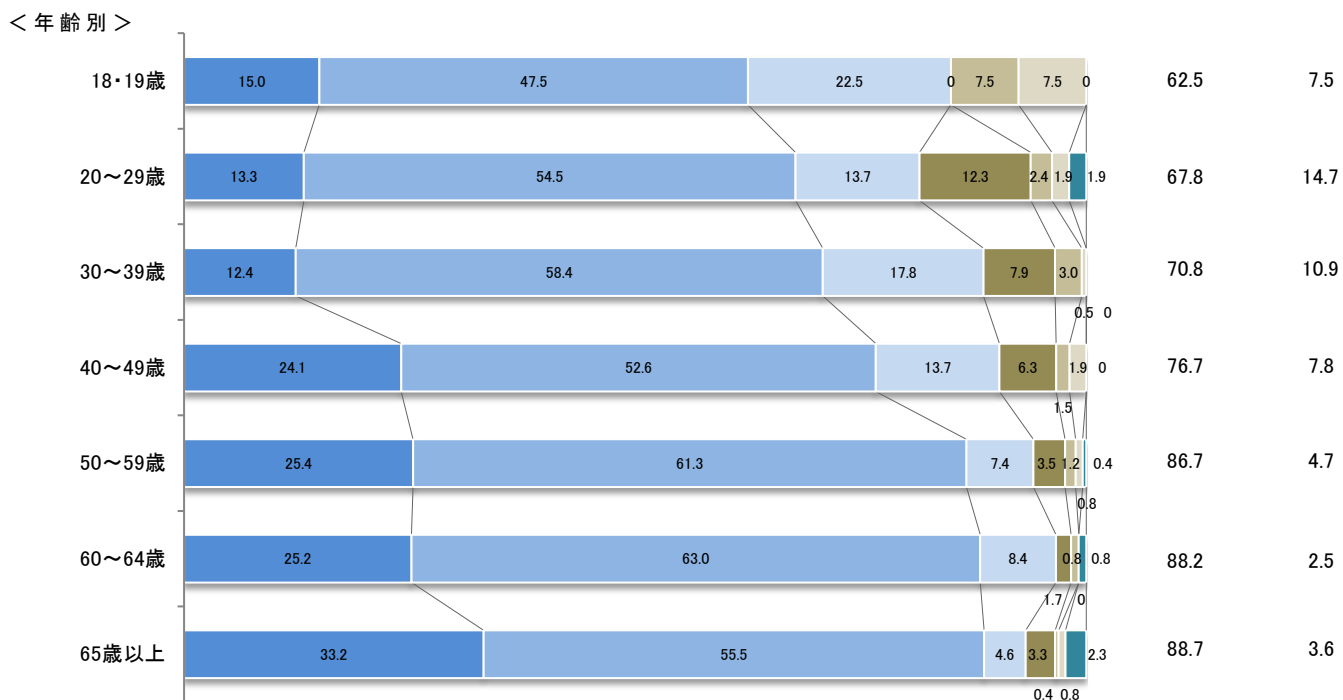
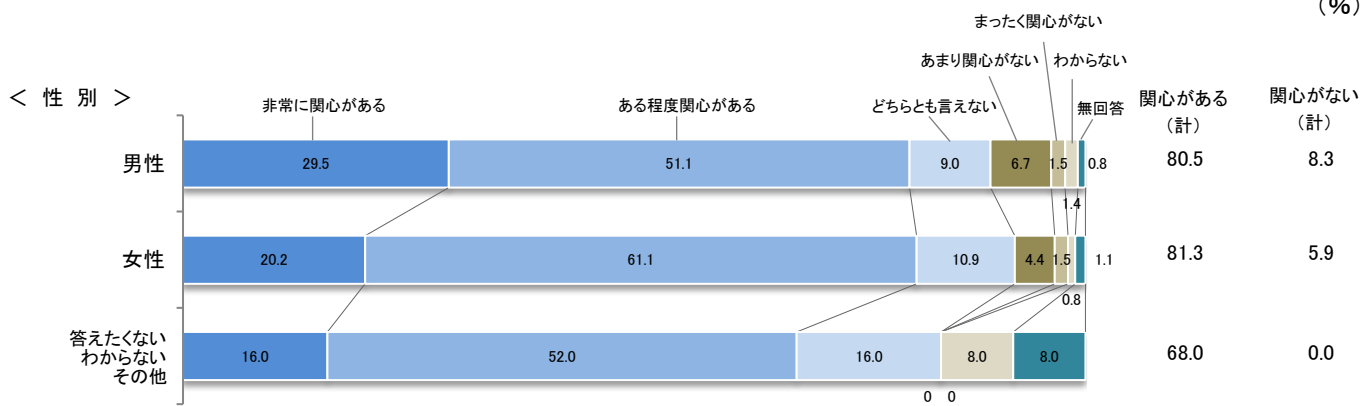


プラスチックごみ問題への関心度について、「非常に関心がある」(24.1%)と「ある程度関心がある」(56.2%)を合わせた“関心がある”と答えた人の割合は 80.4%となっている。

一方で、「あまり関心がない」(5.4%)と「まったく関心がない」(1.5%)を合わせた“関心がない”と答えた人の割合は 7.0%となっている。

# プラスチックごみ問題への関心度(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

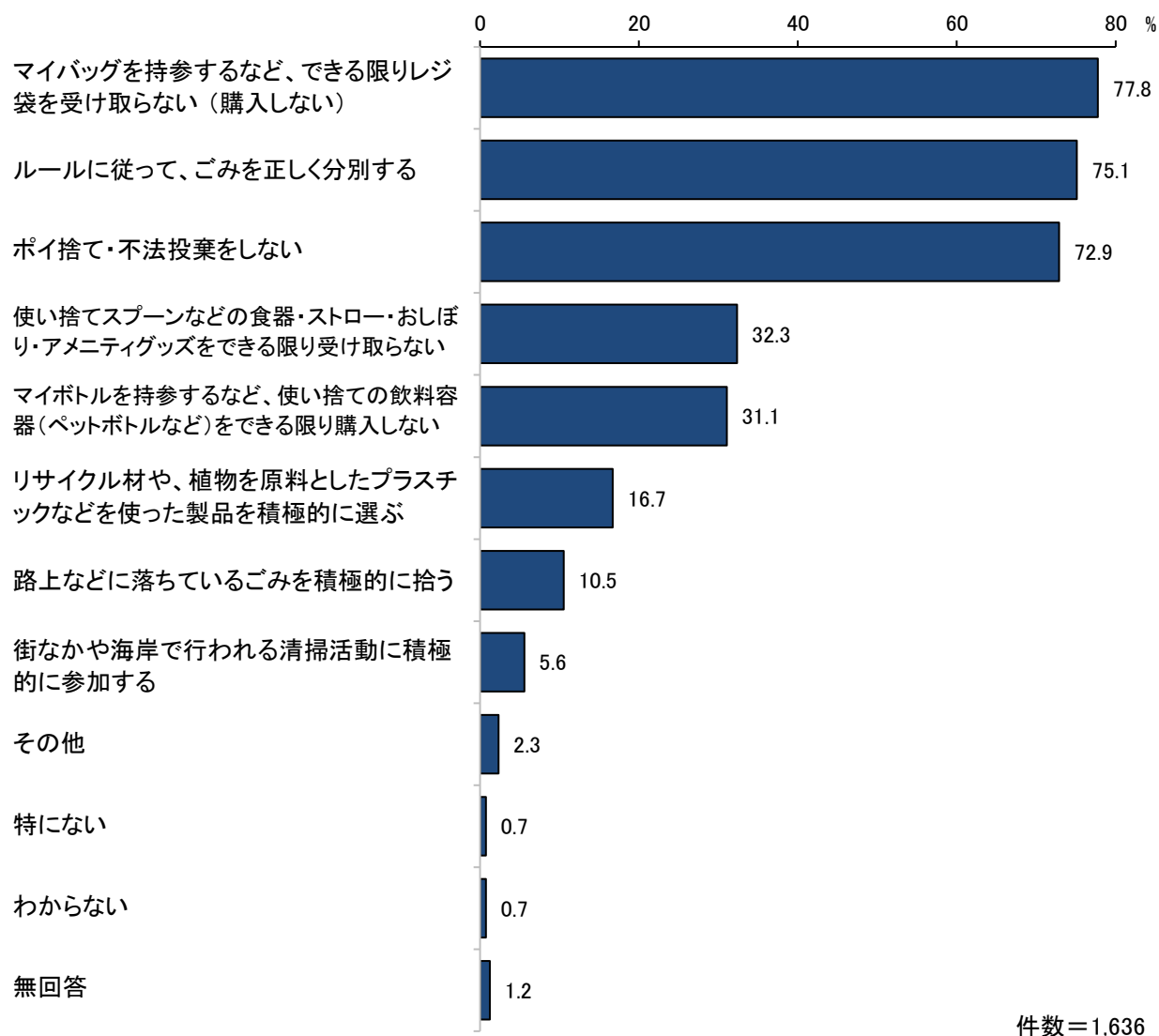




(5)プラスチックごみ問題を悪化させないために今後取り組んでいきたいこと

「マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない（購入しない）」が 77.8%

問 16 プラスチックごみ問題を悪化させないために、あなたは、今後どのようなことに取り組んでいきたいと思いますか。【○は複数可】



プラスチックごみ問題を悪化させないために今後取り組んでいきたいことについて、「マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない（購入しない）」と答えた人の割合が 77.8%と最も高く、続いて「ルールに従って、ごみを正しく分別する」(75.1%)、「ポイ捨て・不法投棄をしない」(72.9%)の順となっている。

# プラスチックごみ問題を悪化させないために今後取り組んでいきたいこと

(%)

## (性別、年齢別、地域別、職業別)

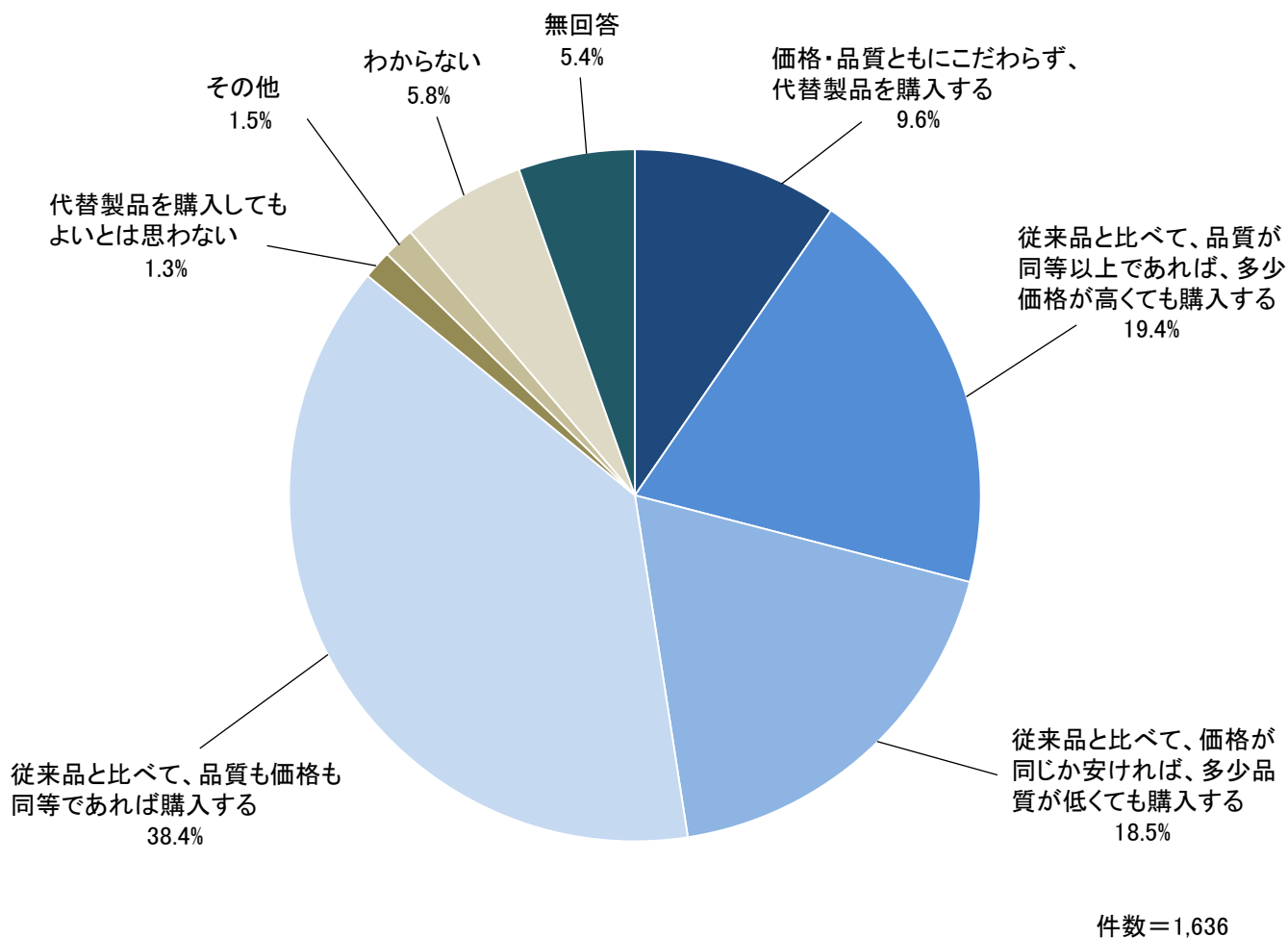
	マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない(購入しない)	ルールに従って、ごみを正しく分別する	ポイ捨て・不法投棄をしない
<b>&lt; 性別 &gt;</b>			
男 性	70.5	70.7	69.3
女 性	84.5	80.4	76.5
答えたくない わからない その他	72.0	44.0	60.0
<b>&lt; 年齢別 &gt;</b>			
18歳・19歳	70.0	60.0	65.0
20～29歳	67.8	66.4	66.8
30～39歳	69.8	70.8	73.8
40～49歳	77.0	74.1	73.0
50～59歳	80.1	75.4	78.1
60～64歳	79.8	80.7	66.4
65歳以上	85.4	82.0	75.0
<b>&lt; 地域別 &gt;</b>			
名古屋地域	79.3	74.4	70.6
尾張地域	79.4	77.6	74.3
西三河地域	79.4	74.2	75.4
東三河地域	65.8	74.3	71.1
<b>&lt; 職業別 &gt;</b>			
自営業	80.2	72.1	75.7
勤め人	73.9	74.0	73.5
無職	83.3	78.5	72.2

	使い捨てスプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズをできる限り受け取らない	マイボトルを持参するなど、使い捨ての飲料容器(ペットボトルなど)をできる限り購入しない	リサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ
<b>&lt; 性別 &gt;</b>			
男 性	23.7	23.8	14.2
女 性	39.8	36.8	18.9
答えたくない わからない その他	24.0	40.0	16.0
<b>&lt; 年齢別 &gt;</b>			
18歳・19歳	25.0	30.0	5.0
20～29歳	21.3	28.0	13.3
30～39歳	30.7	34.2	15.8
40～49歳	34.8	33.0	17.4
50～59歳	40.2	34.0	20.7
60～64歳	30.3	26.9	16.0
65歳以上	33.8	30.1	17.5
<b>&lt; 地域別 &gt;</b>			
名古屋地域	35.2	34.3	16.6
尾張地域	32.4	29.1	15.8
西三河地域	31.3	31.9	20.6
東三河地域	25.7	27.6	13.8
<b>&lt; 職業別 &gt;</b>			
自営業	30.6	18.9	14.4
勤め人	29.6	32.7	17.8
無職	36.5	32.2	16.9

(6)プラスチック代替製品の購入条件

「従来品と比べて、品質も価格も同等であれば購入する」が 38.4%

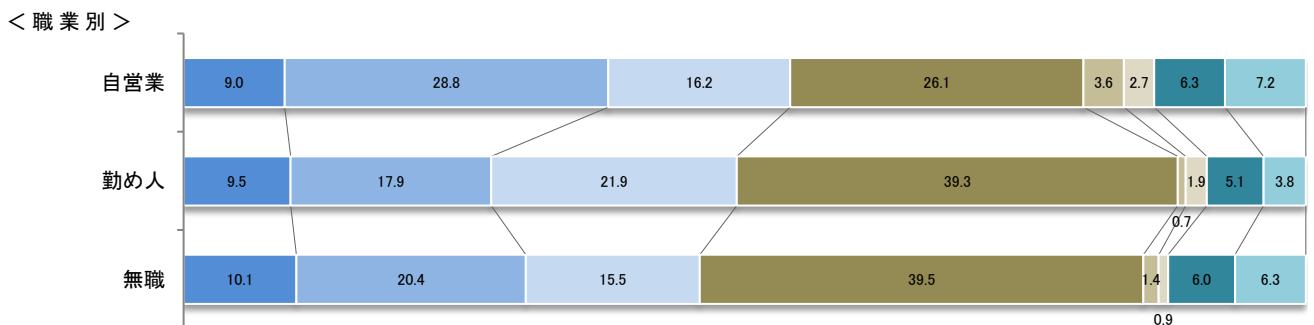
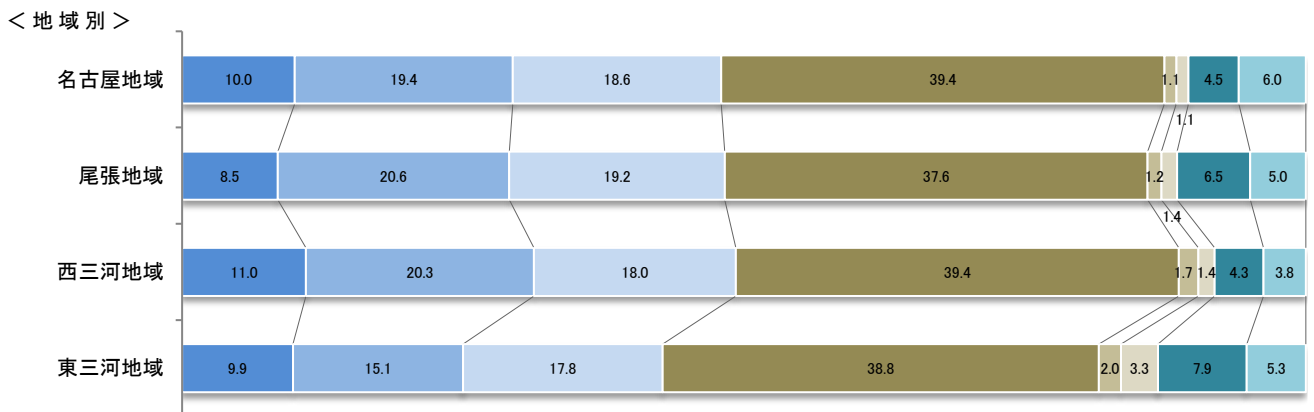
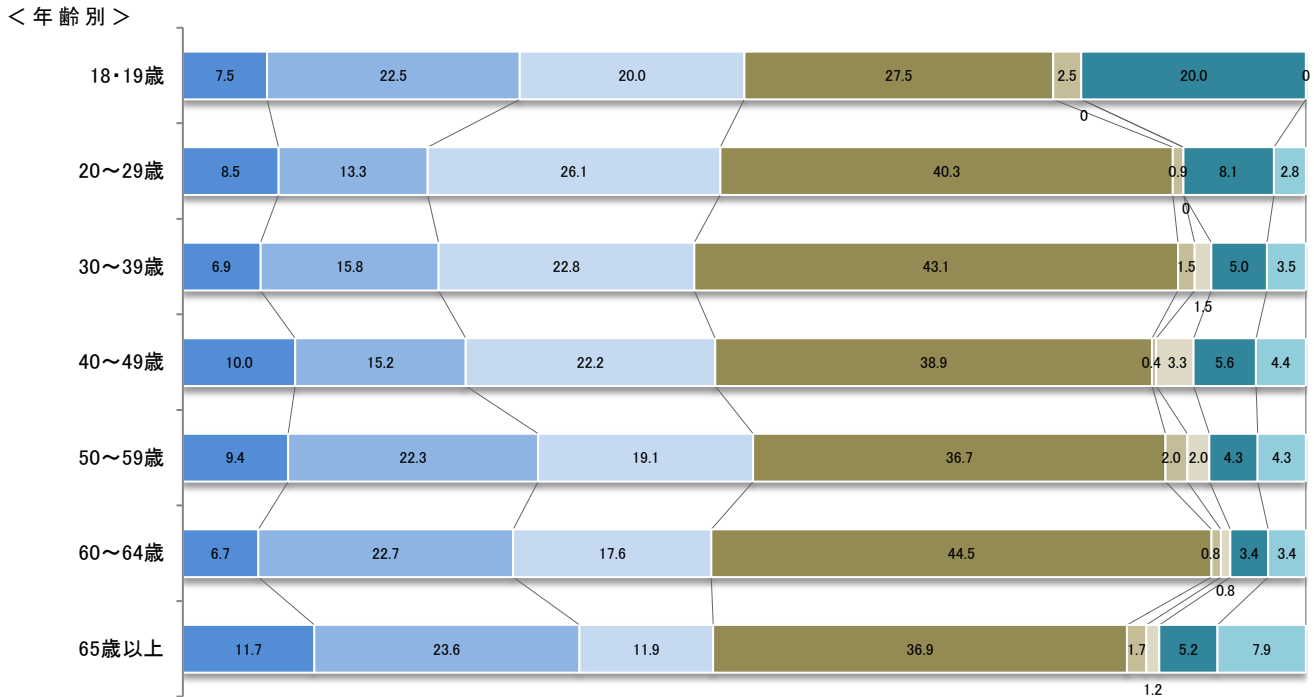
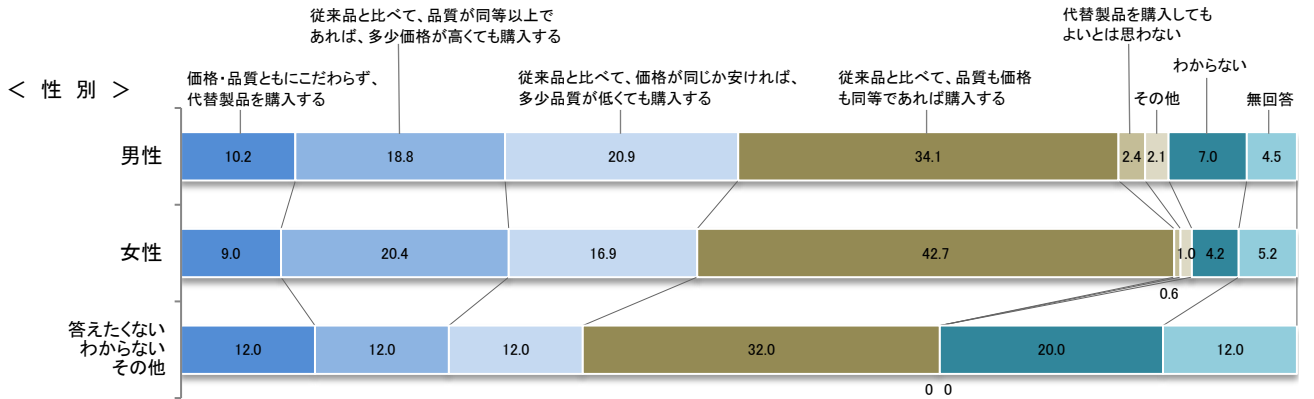
問 17 プラスチックごみ問題の解決には、プラスチック製の容器・包装・製品を、代替製品へ転換していくことも重要と言われています。代替製品は従来品と比べて、品質や価格などが変化することがありますが、あなたは、普段の買い物の際、どのような条件が合えば、代替製品を購入してもよいと思いますか。【〇は1つ】



プラスチック代替製品の購入条件について、「従来品と比べて、品質も価格も同等であれば購入する」と答えた人の割合が 38.4%と最も高く、続いて「従来品と比べて、品質が同等以上であれば、多少価格が高くても購入する」(19.4%)、「従来品と比べて、価格が同じか安ければ、多少品質が低くても購入する」(18.5%)の順となっている。

# プラスチック代替製品の購入条件(性別、年齢別、地域別、職業別)

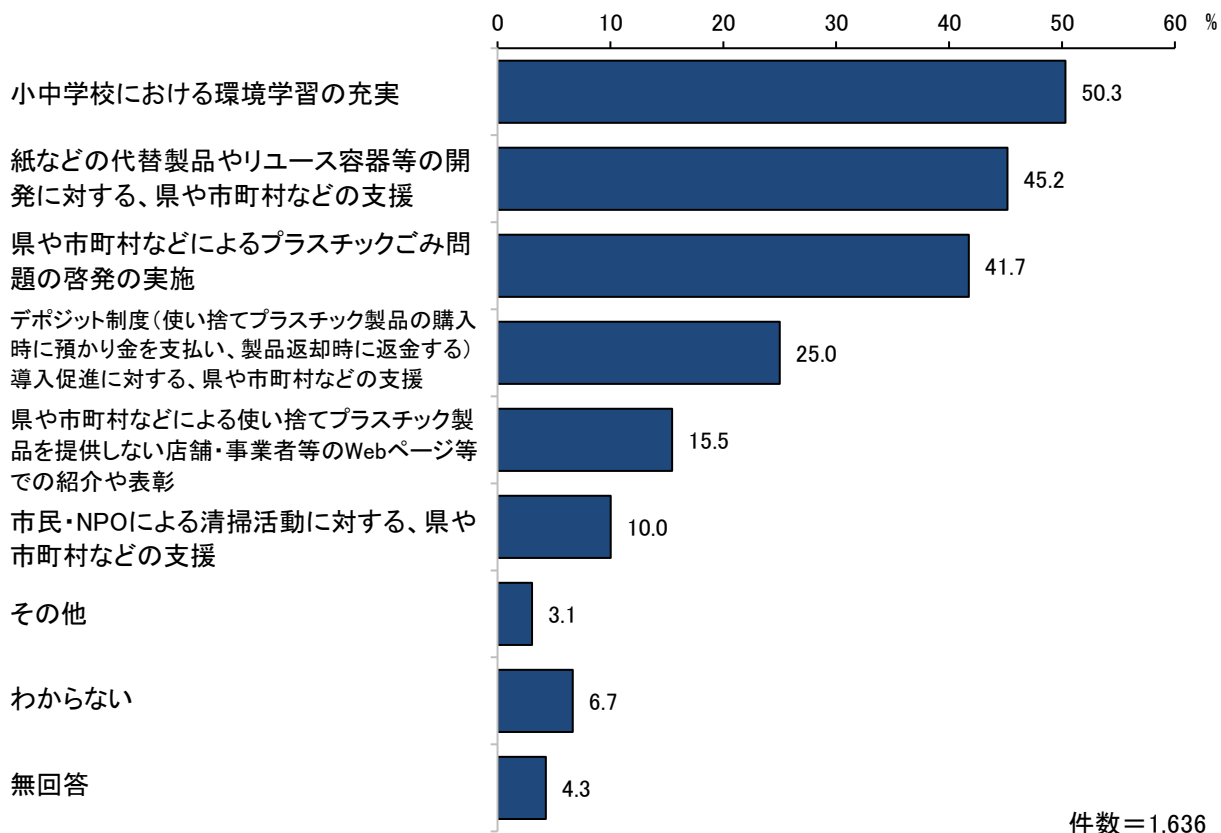
(%)



(7)プラスチックごみ問題への対策として有効だと思う取組

「小中学校における環境学習の充実」が 50.3%

問 18 あなたが、プラスチックごみ問題への対策として特に有効だと思う取組は何ですか。  
【〇は3つまで】



プラスチックごみ問題への対策として有効だと思う取組について、「小中学校における環境学習の充実」と答えた人の割合が 50.3%と最も高く、続いて「紙などの代替製品やリユース容器等の開発に対する、県や市町村などの支援」(45.2%)、「県や市町村などによるプラスチックごみ問題の啓発の実施」(41.7%)の順となっている。

# プラスチックごみ問題への対策として有効だと思う取組(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

	小中学校における環境学習の充実	紙などの代替製品やリユース容器等の開発に対する、県や市町村などの支援	県や市町村などによるプラスチックごみ問題の啓発の実施
<b>&lt; 性別 &gt;</b>			
男 性	46.7	44.7	41.5
女 性	54.2	46.6	43.0
答えたくない わからない その他	44.0	28.0	20.0
<b>&lt; 年齢別 &gt;</b>			
18歳・19歳	60.0	25.0	40.0
20～29歳	47.4	40.3	29.4
30～39歳	54.5	41.1	31.2
40～49歳	58.1	45.9	30.7
50～59歳	48.0	46.1	41.8
60～64歳	47.9	51.3	46.2
65歳以上	48.2	48.9	56.4
<b>&lt; 地域別 &gt;</b>			
名古屋地域	52.7	45.6	45.2
尾張地域	49.7	45.2	39.3
西三河地域	52.2	48.1	43.2
東三河地域	46.7	39.5	42.1
<b>&lt; 職業別 &gt;</b>			
自営業	45.9	45.9	45.9
勤め人	52.2	45.2	36.6
無職	50.4	46.5	48.4

	デポジット制度(使い捨てプラスチック製品の購入時に預かり金を支払い、製品返却時に返金する)導入促進に対する、県や市町村などの支援	県や市町村などによる使い捨てプラスチック製品を提供しない店舗・事業者等のWebページ等での紹介や表彰	市民・NPOによる清掃活動に対する、県や市町村などの支援
<b>&lt; 性別 &gt;</b>			
男 性	24.0	16.1	10.8
女 性	26.5	15.3	9.8
答えたくない わからない その他	16.0	4.0	0
<b>&lt; 年齢別 &gt;</b>			
18歳・19歳	20.0	20.0	12.5
20～29歳	30.3	12.8	10.9
30～39歳	30.2	16.3	10.9
40～49歳	27.4	16.7	9.3
50～59歳	27.3	11.7	5.9
60～64歳	30.3	17.6	7.6
65歳以上	18.4	16.7	12.3
<b>&lt; 地域別 &gt;</b>			
名古屋地域	29.0	14.7	9.0
尾張地域	25.5	16.4	11.1
西三河地域	22.9	14.2	7.5
東三河地域	18.4	17.1	15.1
<b>&lt; 職業別 &gt;</b>			
自営業	22.5	14.4	9.9
勤め人	28.4	15.6	8.1
無職	21.5	15.5	12.8